

いずみさの教育

NOW

問合先
学校教育課
☎493-2091

自らの人生を舵取りする力

令和7年9月25日に文部科学省中央教育審議会教育課程企画特別部会より「論点整理」が報告されました。この中で次の学習指導要領改訂に向け、「自らの人生を舵取りすること」ができる民主的で持続可能な社会の創り手の育成」という現時点での基本的な考え方が示されました。日々変わっていく社会の中で、子どもたちがこれから「自らの人生を舵取り」するためにはどんな力が必要なのでしょう。

が自分自身と向き合い、未来を切り開く力を育むことを目的とした特別なノートで、現在、市内小・中学校に在籍の小学3年生・中学3年生の児童生徒に配付されています。「マイノート」には、子どもたちに夢や目標に向かって「やりたい！」ことに没頭してほしいという願いも込められています。子どもたちには、自分が没頭できることや好きなこと、得意なことをみつけ、それにとことん打ち込む経験をしてほしいと願っています。

「マイノート」は、自分のやりたいことや自分自身を知り、目標を定めて実行し、振り返り改善していくという内容です。これからも家庭と学校が一体となって、子どもたちのがんばりを励まし、応援していきたいと思っています。

令和5年10月から「My note（マイノート）」の取組を始めています。これは、子どもたち



学校園紹介

児童主体の活動をめざして
～第二小学校～

第二小学校では、子どもたちの主体性を育み、学校生活をより豊かにするために異学年交流を積極的に行っています。

【にっこ二小（にこ）タイム】

1～6年生で構成された縦割り班で年間を通して活動しています。にっこ二小タイムの時間が来ると、6年生が1年生を優しく迎えに行き、各教室へ連れて行きます。集会委員会が企画したゲームなどを通して、学年の枠を超えて楽しい時間を過ごしています。



【二小フェスティバル】

3～6年生が運営役となり、工夫を凝らした体験ブースを用意するイベントです。1・2年生はスタンプカードを手に、ワクワクしながら各会場を巡ります。今年度も長蛇の列ができる教室が続出し、校内は笑顔と活気に包まれていました。



【たてわり清掃】

清掃も異学年で協力して行っています。上級生が手本となって優しく教え、下級生も真剣に応えます。掃除が終わると「次は階段をやるのか?」「窓を拭いていいですか?」と声を掛け合い、自発的に掃除に取り組む姿が見られます。

学びは力
～佐野中学校夜間学級～

佐野中学校夜間学級は、2024（令和6）年4月に生徒数76人でスタートし、今年度（5月現在）は81人で国籍数が16カ国の人が学んでいます。入学の条件は「戦後の混乱期に学校に通えなかった人」「本国で義務教育を修了していない外国籍の人」「昼間の中学校で不登校となって中学校を卒業しなかった人」「不登校などのためにほとんど学校に通えないまま、学校の教育的配慮により中学校を卒業した人（形式卒業）」の4つです。昼間の中学校と同じように国語、社会、数学、理科、英語、音楽、美術、技術・家庭科、体育の9教科を勉強し、入学式や校外学習もあります。

今年度の行事を紹介します。入学式は、年に2回生徒を募集し、春と秋に行います。式では在校生から歓迎の言葉があり、新入生の代表が誓いの言葉を述べました。みなさん自国のドレスや民族衣装で参加しました。5月には校外学習があり、バスで尼崎市を訪れました。バスの中ではゲームをしたり、それぞれの国の歌を歌ったりして交流を深め、昼は尼崎城の周辺で弁当を食べました。7・8月は、泉佐野市の無形文化財「佐野くどき」を教してもらい、浴衣を着て盆踊りを練習しました。みなさん慣れない中、浴衣の着付けをして佐野くどきを踊っていました。



「学びは力」を合言葉に日本で生活するために、みなさん積極的に授業や行事に参加しています。もちろん、仕事や家事で学校に通えない時もありますが、継続的に学習を深めています。